

に じ

Vol.31

2014年12月発行号

ご自由にお持ち下さい

地域医療のかけはし となることを願って



Contents

- P2 麻酔科と麻酔科医
- P3 助産師外来「つくしんぼ」
- P4～5 当院のチーム医療
- P6 ボランティア紹介
- P7 信頼と連携の輪
- P8 診療日程案内



社会福祉法人

恩賜財団

済生会川内病院



ペインクリニック外来と
病棟カンファレンスの様子



麻酔科と麻酔科医

日高 帯刀 (ひだか たてわき)

麻酔科部長

最近テレビや映画で時々目にする麻酔科医。ある映画では殺人犯、あるドラマでは手術中のアナフィラキシーショック（アレルギー反応の重度のもの）に気付けない医者、手術中の大量出血にあわてふためき術者に叱責される医者、薬物中毒の医者（一応すゝ腕）と散々な役回りを与えられています。ちなみにこの4つの映画・ドラマの題名が分かる人は立派な医療ドラマ通でしょう。さて殺人犯と薬物中毒患者は論外ですが、アナフィラキシーショックや大量出血は実際、手術中にたまにあることです。どちらも対応が求められると命にかかわる状態になります。そこでその状態に対応するために本来、そこで出番となるのが麻酔科医というわけです。

麻酔は英語で Anesthesia、語源は無（A）+感覚 (Esthesia)、つまり無感覚（鎮痛）のことです。紀元前の古代ギリシャ・古代エジプトなどの時代、芥子・大麻・ヒヨス・マンダラゲなどを使用して手術・歯痛を治療したのが始まりと言われ、日本では華岡青洲（1760〜1835、外科医）が1804年にマンダラゲを主成分とする通仙散で乳がんの根治術を行なっております。近年の全身麻酔は痛み止め（鎮痛）に加えて、怖くないように意識を取り（鎮静）、動かないように体（無動化）と生体反応（有害な神経反射の抑制）をコントロールします。さらに麻酔を通じて有害な生体侵襲（生体内の恒常性を乱す可能性のある外部からの刺激。外科手術、感染、中毒など）から生体を守ることを第一義にかかげております。つまり手術の時に皆様を守るのが麻酔科医の仕事です。そのために麻酔にはいくつかの種類がありさまざまな薬や手技を駆使しながら麻酔科医は仕事しています。

この特性を生かして、麻酔科は手術室内の麻酔だけでなく手術室の外にも活動の場所を広げてきました。患者の痛みと苦しみを和らげる、ペインクリニックや緩和医療に。重症患者の安定化に、救急医療や集中医療に。それぞれの麻酔科医に得手不得手はありますが頑張っております。また、もともと手術室の医療はチーム医療でしたが、最近ますます多種多様化してきた病態や、患者・家族の要望に因應するため、多職種がチームとして治療にあたるのが一般的となりつつあります。チームの一員としての麻酔科医の存在も大きくなつてきております。

第一次世界大戦（1914〜1918）中のドイツを舞台にした映画「西部戦線異常なし」（1930年製作のアメリカ映画）の中にワンシーンだけ麻酔をかける場面があります。1970年代には医療ミステリーの旗手ロビン・クックの「COMA」の中に麻酔科医が登場し、1993年の渡辺淳一の「麻酔」は麻酔による医療事故を扱いますが、夫婦愛の物語となっています。渡辺淳一の「麻酔」は私が麻酔を始めた頃の本で麻酔の説明に難渋したことを覚えています。現代の麻酔は老若男女生まれ前の胎児から100歳超えの高齢者まで皆が受ける時代となりました。そしてそれは単に手術を受けるといふ人達だけでなく、全ての人達に必要なようになってきているのかもしれない。これからはますます必要としてくれる人々に、必要な医療を提供できるように頑張っていきたいと思っております。

構成要素	意味	使用する薬物
鎮痛	痛みをとる	鎮痛剤
鎮静	眠れるようにする	鎮静剤
筋弛緩	動いたり、力が入るのを防止する	筋弛緩剤
有害な神経反射の防止	血圧や脈拍の変動をコントロールする	昇圧剤・降圧剤・循環作動薬



「つくしんぼ」で素敵な時間を 過ごしませんか？



～助産師外来「つくしんぼ」6年目を迎えて～

産婦人科外来・3階東病棟

はじめに

H21年9月から始まった助産師外来「つくしんぼ」も今年で6年目を迎えました。これまで多くの方が受診され、また支えていただいたことに本当に感謝の想いでいっぱいです。

「つくしんぼ」開始当時、国は助産師外来・院内助産の普及を推進していました。当院でも国の現状・推進を受け、助産師外来設立の検討を行い、実施へと至りました。

「つくしんぼ」では妊婦健診、妊娠中の乳頭ケア、妊娠生活における相談、産後の乳房ケア等、患者様個々に応じた相談や指導を行っています。30分という短い時間ではありますが、アロマや音楽を流しながら、いつもとは違った環境のもとでリラックスして受けていただいています。

5年間で述べ1,189名の方が受診されました。2人目、3人目、4人目と「つくしんぼ」を利用していただき、上の子を連れて来院される方もいらっしゃいました。また「不安なことを聞ける」、「おっぱいを見てもらえて良かった」、「初めて赤ちゃんの心臓の音をゆっくり聞いた」、「エコーをじっくりみることができて嬉しかった」、「完全予約制だから良い」などの意見をいただいています。

つくしんぼ3周年フェスティバル

「つくしんぼ」が3周年を迎えた時、これまで受診してくださった方へ感謝の意をこめて、H23年8月末『「つくしんぼ」フェスティバル』を催しました。当院外来フロアを利用し、プレママコーナー、KIDSコーナー、アロマコーナー、母乳・育児コーナー、離乳食コーナーを設け、お子様やご夫婦で71名の方々の参加がありました。「今後もこのようなイベントがあれば参加したい」、「アットホームのような感じでとても過ごしやすかった」、「やはり産んだ病院が一番！」などの感想を頂き、私たちスタッフも嬉しい気持ちで楽しいひと時を過ごすことができました。

おわりに

開始当初12枠/週設けていた外来も助産師不足に伴い、6枠/週へと減少してきているのが現状です。また「回数を増やして欲しい」、「里帰り出産で定期的に受けることができなかつたため受けてみたかった」、「ネットなどにもあまりのっていないので知らなかつた」などのご意見を頂き、PR方法、内容・時期の検討を行い、グレードUPした「つくしんぼ」をスタッフ全員でつくっていきたいと思っています。「つくしんぼ」で皆様にお会いできることをスタッフ一同楽しみにお待ちしております♥

(文責：助産師 上村 聡美)



助産師外来「つくしんぼ」の案内

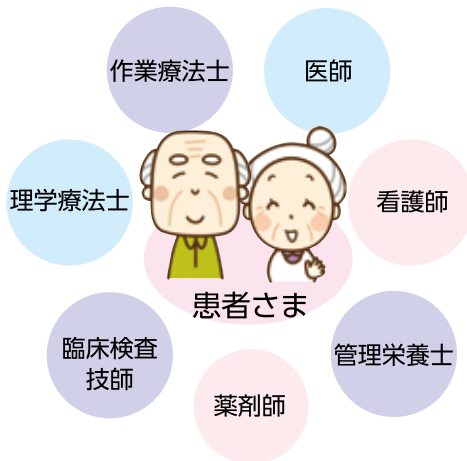
- **日時** 毎週火曜日 13:30～16:30
おひとり様30分(完全予約制)
- **対象者** 妊娠20週前後、30週前後 出産後の方
- **内容** 妊婦検診
マタニティライフに関する保健指導
乳房ケア
- **場所** 産婦人科外来
- **担当** 外来または病棟助産師
(産婦人科医師は立ち会いません)



治療を支えます！！

複数のメディカルスタッフ(医療専門職)が に当たることです。

○ 栄養サポートチーム (Nutrition Support Team)



栄養状態が悪いと

- 治療がスムーズに進まない
- 病気と闘う体力がなくなる
- 傷や骨折の治りが遅くなる
- 感染症や褥瘡(床ずれ)の原因になる!!

病气やけがのために、食事が摂れなくなったり、飲み込みが悪くなったりすると、体に必要な栄養が足りなくなり、栄養不良となってしまいます。
□から食べる「食事」と血管から栄養を入れる「輸液」の両方を考えて栄養状態を維持・改善に導きます。皆さんの治療をサポートする!!
これが目標です!

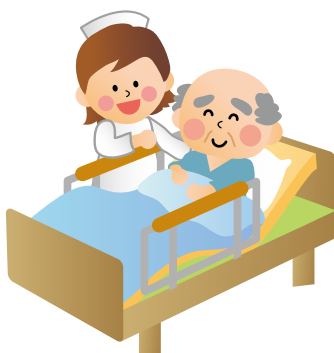


栄養サポートチーム…略してNSTは、
医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・検査技師・
療法士などがそれぞれの知識を持ち寄って、患
者さんの栄養状態を考え治療をサポートする
チームです。

どんな患者さんが栄養不良になりやすい?!

- 食事が減り、過去3ヶ月で体重が3kg以上減った
- 食事や飲み物の飲み込みが悪い
- 自分で歩けない
- 褥瘡(床ずれ)がある

○ 褥瘡対策チーム(床ずれなおし隊) 褥瘡とは『床ずれ』の事です



こんな方は床ずれになりやすい

- いつも同じ姿勢で寝ていて、寝返りがうてない
- 栄養状態が悪い(食事が食べられない)
- 痩せていて骨が出ている

私たちが
お手伝い
します!



床ずれの創を
評価し、適切な
薬剤を選びます。

同じ姿勢をとらない
ように説明し、
敷きマットについても
アドバイス!

栄養状態を評価し、
必要な栄養を
サポートします。

NST・褥瘡対策チームは皆さんの治療を支える活動をしています。
全てを解決できるスーパーマンではありませんが、皆さんの治療に寄り添って
お一人お一人に合った栄養サポートを考えて参ります。
お気軽にご相談ください。



Orange Balloon Project

緩和ケア
チーム

緩和ケア
外来

がん相談
支援センター

当院はチームで皆さんの

チーム医療とは、一人の患者さんに 連携して、治療やケア

緩和ケアとは、

重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などのつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

日本緩和医療学会作成 「市民に向けた緩和ケアの説明文」

○ 緩和ケアチーム

この病院には、がんと向き合う患者さんご家族をサポートするチームがあります。

『緩和ケア』は、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。がんと診断された時から、治療(手術・抗がん剤治療・放射線治療など)とともに「つらさをやわらげる = 緩和ケア」を始めることが大切です。緩和ケアチームは、がん療養中のつらさに焦点を当て、さまざまな症状などをコントロールしながら、ご自分の生活に合わせた治療を選択し、ご自身らしく生きるためのお手伝いをしていきます。また、ご家族の不安や悩みにも対応します。ひとりで抱え込まず、主治医や看護師・がん相談員などに相談し、緩和ケアチームのサポートを上手に利用しましょう。



■ チームメンバーの役割

医師・
看護師

痛みなどのつらい症状や気分の落ち込み、不眠などの症状を緩和します。

訪問看護師

緩和ケアを住み慣れた家で快適に療養できるように、在宅で提供します。

薬剤師

お薬の作用や副作用、飲み方などを分かりやすく説明します。

管理栄養士

栄養や食事の工夫について皆さんと一緒に考えます。

社会福祉士

何か相談したい、気になることがある、そんな時お役にたちます。

理学・作業
療法士

生活の質を高める日常生活の過ごし方を考えます。

○ 緩和ケア外来

診療日と体制

● 身体症状緩和

診察日時 : 毎週火・木曜日 午後2時～4時

診察場所 : 2階 外科外来

● 精神症状緩和

診察日時 : 第1・3火曜日 午後2時～4時

診察場所 : 1階 相談室(放射線受付前)

● 外来受診方法

- ・ 外来診療は完全予約制です。
- ・ 下記の相談窓口へお越しいただくか、または当院に通院・入院中の方であれば、主治医・看護師へお申し出ください。
- ・ 現在、他の病院で治療中の方は、紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。

○ がん相談支援センター

済生会川内病院に受診してなくても、無料で相談できます。相談内容は本人の了解なしに他の方に伝わることはありません。安心してご相談ください。

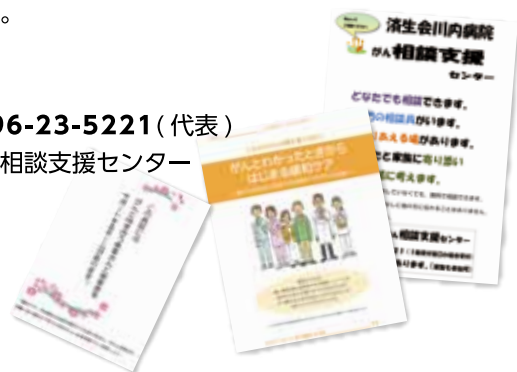
● 相談対象

患者さん、ご家族の他、地域の方どなたでもご利用できます。『花みずき会(患者・家族会)』のお問い合わせ、相談に応じています。

● 連絡先

電話 : 0996-23-5221(代表)

1階 がん相談支援センター





■ネーミングの由来

「母性に満ちた人たちが楽しく手を差し伸べ愛を届けたい」との思いがこもっています。メンバーみんなで考えました。

■メンバーは…

4名で活動しています。そのうち3名が済生会OBです。

■こんなことしてます

病棟などで使用したタオル・台拭き・クッションなどを回収・洗濯し、きれいにして病棟へ届けます。

■こんな風に働いています

週2日ずつペアで半日働きます。「何かすることは無いですか?」と、洗濯機から洗濯物があがってくるわずかな時間も無駄にしないように、半日をとても有効に使ってます。



■細やかな気配りエピソード…一部ご紹介

- ・ボランティアの日、開始時間と自分の用事が重なったときのことです。「皆が困るから」といつもより早く出てきて、業務に支障がないように段取りをして、自分の用事は仕事の途中で抜け出して済まされました。
- ・仕上げた洗濯物はなるべく患者様の目に触れないようにと、置き場所について提案してもらいました。私たちも改めて患者様目線に気づかされました。
- ・洗濯機の蛇腹の水漏れ発見、小さい穴の内ですぐ補修でき、事故もなく助かりました。
- ・「カバーのほつれを小さいうち縫っておきたいので裁縫箱はないですか。」早めに縫って頂きカバーの寿命が延びました。

■いくら感謝しても足りないくらい頭が下がります

暑い夏の日、雨の日、台風が迫ってくる中、汗を流しどんな時も笑顔でされている姿に胸を打たれます。その奉仕の精神には感謝しても、感謝しても感謝しきれません。オレンジのユニホーム姿を見かけられたときは気軽に声をかけてください。

■ボランティアメンバー募集

あなたもこの活動に参加してみませんか？興味のある方はぜひお知らせください。

母楽手愛くらぶは平成26年4月に発足しました

信頼と連携の輪

連携医療機関のご紹介

地域の中核病院は、地元の医療機関との緊密な連携プレーが欠かせません。そこで当院が日頃 大変お世話になっております連携医療機関についてのご紹介です。

《一般内科・胃腸内科・心療内科・呼吸器内科・循環器内科》

▶ 永井病院

薩摩川内市



院長名 永井 俊治
住 所 薩摩川内市大小路町 21 番 5 号
電 話 0996-23-7181
診療時間 【平日】〈午前〉9:00~12:30
 〈午後〉13:30~18:00
 【土曜】〈午前〉9:00~12:30
休診日 日曜・祝日



▶ 上村病院

薩摩川内市



院長名 上村 俊朗
住 所 薩摩川内市東開聞町 9 番 22 号
電 話 0996-23-3185
診療時間 【平日】〈午前〉8:30~12:30
 〈午後〉13:30~17:30
 【土曜】〈午前〉8:30~12:30
休診日 日曜・祝日



患者さんの意思を限りなく尊重した最善の医療の提供がモットー

【内科の専門医が診療】

昭和21年の開設以来、地域医療に努めてまいりました。内科診療を中心に近年は高齢化社会に伴う関連施設の展開にも力を注いでおります。老健施設やグループホーム、デイケア、訪問看護、訪問介護や

在宅介護支援など、医療と介護の両面から高齢者とその家族に寄り添った支援を目指しています。

患者さんたちの居心地の良さを考え、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに気を付けて、3年前に設けた待合室を兼ねたリラクゼーションルームには、マッサージチェアやウォーターベッドなどを備え、患者さんが自由にくつろげる場所を提供し、心と体の癒しに心がけています。

【さらなる医療の向上を図る医療機器の導入】

導入している主な医療機器は、CT・X線撮影装置・超音波検査（エコー）等の画像診断、胃カメラ、呼吸機能検査、骨密度測定器など喫煙患者に対する禁煙治療も行っており、禁煙治療呼吸測定器も備えています。CTは、診療精度の向上を図るために放射線専門医によるダブルチェックシステムを導入し、画像ファイルシステムで、診察時にはモニター画面を見ながらわかりやすい説明が受けられます。

当院は、開設して107年。現在国が進めている地域密着型医療の一端を担うため、地域に密着して、主に急性期の医療提供を目指しています。

○乳腺外来

女性の乳腺外科専門医、女性技師によるマンモグラフィ。検診から乳癌手術・治療まで同じ女性目線での診療を心がけております。乳房再建の手術も対応しています。

○鏡視下手術

消化器疾患から肺疾患の手術では傷が小さく低侵襲な鏡視下手術を行っております。

胆石症・ソケイヘルニア・急性虫垂炎・大腸がん・胃がん・肺がん・自然気胸など。

○内科

総合的内科疾患の初期診療を行います。又、呼吸器科、アレルギー科では専門医が主に診療しますし、又、胃・大腸内視鏡検査及びポリプ切除など専門医が担当します。

○肛門外科

切らないで注射で治す内痔核硬化療法（ALTA、ジオン）を実施しております。

○禁煙外来 当院の禁煙外来は保険適応です。

○関連施設

・介護老人保健施設「グレースホーム」：病院などに通院された後、在宅復帰などに必要なリハビリ提供を主とした生活支援の為の施設です。

・サービス付き高齢者住宅「グレースガーデン」：介護が必要な高齢者の方々が住みなれた環境、必要なサービスを受けながら安心して居住できる住まいです。

診察日程案内

平成26年12月現在

■ は再診日です。

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	糖尿病	西牟田 浩				倉野 美穂子		馬場 泰忠		久保田 敬子			
	消化器	田淵 雅裕				青崎 眞一郎		牧野 智礼					
	肝臓	呉 建		最勝寺 晶子 梶 一晃		最勝寺 晶子 樋脇 卓也		最勝寺 晶子 梶 一晃		今中 大			
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊			
	ペースメーカー (第3・4金曜)									福岡 嘉弘			
	腎臓	濱田 富志夫		小山田 美紀		古城 卓真		濱田 富志夫		小山田 美紀			
	呼吸器	※末次/秋原 坂上		※豊倉 和代						副島 賢忠			
一般内科	古城 卓真 岩田 美恵子		再診日		岩田 美恵子		再診日		羽田 明生 梶 一晃				
外科	手術日		柳 政行 (予約制)		手術日		貴島 文雄 (予約制)		手術日				
ストーマ外来 (第1火曜日)			貴島 文雄										
小児外科	(一般外科手術)			池江 隆正 (13時30分-16時)		(一般外科手術)		手術日		(一般外科手術)	池江 隆正 (13時30分-16時)	池江 隆正 (第2・4土曜) (9時30分-11時)	
整形外科	村角 恭一 救仁郷 修	病棟回診	手術日	村角 恭一 救仁郷 修	検査	手術日	村角 恭一 救仁郷 修	手術・検査	術後回診				
小児科	田中 主美 吉川 英樹 古城 圭馴美	予防接種 受付11-12時、14-15時 1ヶ月、11-13ヶ月健診 受付13-14時	田中 主美 吉川 英樹 古城 圭馴美	予防接種 受付11-12時 14-15時	田中 主美 吉川 英樹 古城 圭馴美	予防接種 受付11-12時、14-15時 発達外来 受付14-15時	再診日	田中 主美 吉川 英樹 古城 圭馴美	予防接種 受付14-15時 (第2金曜のみ) 受付14時半-15時半	田中 主美 吉川 英樹			
泌尿器科	1診 2診	手術日	伏谷 俊作 堂満 洋司	堂満 洋司 伏谷 俊作	堂満 洋司 伏谷 俊作	伏谷 俊作 堂満 洋司	堂満 洋司 伏谷 俊作	手術					
産婦人科	産科 野口 慎一 婦人科 松尾 隆志	1ヶ月検診	手術日	松尾 隆志 比良 高明	予約検査	比良 高明 野口 慎一	手術	野口 慎一 松尾 隆志	予約検査				
眼科	非常勤医師	非常勤医師	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲					
皮膚科	坂口 郁代	手術	坂口 郁代	予約診察	坂口 郁代	病棟	坂口 郁代	手術日					
放射線科	南立 亮	放射線治療	小野原 信一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	小野原 又は南立	
緩和ケア外来			第1・第3火曜日 14-16時 安原/勝目/原田 (精神症状緩和・隔週)			毎週火・木曜日 14-16時 柳 政行 (身体症状緩和・火曜日) 貴島 文雄 (身体症状緩和・木曜日)							
ペインクリニック								西村 絵美					

- ※呼吸器外来は月曜日又は火曜日と金曜日の診察になります。詳しくはお問い合わせ下さい。
- 予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
- 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
- がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(9時～16時)
- がん患者さんとご家族のサポートを行う緩和ケアチームがあります。
- セカンドオピニオンに関する相談を医療連携室に行っております(9時～17時)

予約・お問い合わせは
TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

- 1.患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
- 2.医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
- 3.私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
- 4.公的の中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
- 5.職員の間での協働と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

- ### 権利について
- 1.誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
 - 2.病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
 - 3.診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。
- ### 責務について
- 1.自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
 - 2.医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
 - 3.病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院
〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
http://www.saiseikai-sendai.jp/
mail: info@saiseikai-sendai.jp